

地域協力センター年報

Collaborative Technical Center

No.5 2024.3

2023

独立行政法人 国立高等専門学校機構

大島商船高等専門学校

National Institute of Technology, Oshima College

内容

地域協力センター設置目的	3
ご挨拶.....	3
地域協力センターの主な活動.....	4
地域協力センター運営委員会.....	4
【技術相談】	4
【生涯学習相談】	4
産官学連携.....	5
共同研究.....	5
共同研究報告	7
受託研究.....	10
寄附金.....	11
地域生涯学習	12
公開講座.....	12
出前授業.....	13
大島商船高等専門学校地域連携交流会事業.....	16
事業の概要	16
地域連携交流会役員会.....	21
地域連携交流会総会	21
地域連携交流会講演会（会員発表、特別講演）	22
地域連携交流会ホームページ	24
付録.....	25
科学研究費助成事業	25
令和5年度教育改善充実費（校長裁量経費）	26
公募助成金（助成金）	27
技術相談申込要領.....	28
センター主要日誌.....	30
センター運営会議の開催状況.....	35

* 表紙・裏表紙（デザイン）は、本校電子機械工学科5年 初崎雛希さんに作成いただきました。

地域協力センター設置目的

ご挨拶

前任の北風先生からセンター長から引き継ぎ、なんとか1年を終えることができました。これは本校教職員の皆様をはじめ、大島商船高専地域連携交流会の法人会員の皆様、特別会員の皆様からの多大なるご支援のおかげです。深く感謝申し上げます。この1年を振り返り、反省点を次の1年に活かしていこうと思えます。また、皆様のお力添えもあり、今年も地域協力センター年報（年間報告書2023年度）を皆様にお届けすることができました。

大島商船高等専門学校は、商船学科、電子機械工学科及び情報工学科の3学科からなる高等教育機関です。研究の活性化によるイノベーションの創出及び成果の社会還元、また、産学官連携や地域連携活動の促進、そして公開講座や出前授業による地域人材の育成などを通じて、地域社会の活性化や振興に積極的に貢献するために、平成元年に地域協力センターが設置されました。平成21年には、地域振興会となる『地域連携交流会』を設けて、企業等からの各種相談に応じること、研究協力や生涯学習の推進を図ることを目的として活動しています。

また、令和2年度から『大島商船高等専門学校における地域貢献活動の目的、基本方針、目標』を新たに以下のように制定しております。今後一層地元へ貢献できるように全学を挙げて取り組みますので、どうぞご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

【目的】

大島商船高等専門学校の人材、設備及び本校が有する商船教育や工業教育の研究成果等の知的資源の活用により、地域社会に貢献することを目的とする。

【基本方針】

下記の方針により地域貢献活動を推進する。

1. 地元企業人や一般市民を対象とした公開講座を通じた地域社会への貢献
2. 地域小中学生への商船系・理工系分野の出前授業を通じた地域社会への貢献
3. 地域産業界との共同研究等の連携による地域社会への貢献
4. 地域自治体との連携による地域社会への貢献
5. 行事や催物の支援を通じた地域社会への貢献

【目標】

1. 地域生涯学習の機会や場の提供による地域社会貢献活動を実施する。
2. 地域密着型の共同研究や開発を地域産業界と実施する。
3. 上記1及び2の活動を通じて人材育成活動を実施する。



地域協力センター長
中村 翼

地域協力センターの主な活動



大島商船高専は、平成 16 年 4 月から独立行政法人国立高等専門学校機構大島商船高等専門学校となり、新たな一歩を踏み出しました。本校は、商船学科、電子機械工学科及び情報工学科の 3 学科からなる高等教育機関です。本校では、教育と研究の機能及び設備を開放し、地域の方々のお手伝いをします。そのために校内には次の委員会等を設置しています。

地域協力センター運営委員会

【技術相談】

商船学、機械工学、電気・電子工学、制御工学、情報工学、計算機工学、自然科学（数学、物理、気象学、化学、体育等）等の分野について、受託研究、共同研究による研究開発、各種試験・分析等の受託、技術指導、情報提供及び各種相談等を担当しています。

【生涯学習相談】

地域の人々のニーズに合った学習機会の充実とその成果を活かすことのできる環境整備を積極的に支援していきます。

産官学連携

共同研究

本校に民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、共通の課題について、本校の教員と共同で研究を進める制度です。また、本校と民間企業等がそれぞれの施設で研究を行う「分担型の共同研究」もあります。なお、税制の優遇措置として、民間企業等が支出した試験研究費の一定割合が法人税（所得税）額から控除されます。

共同研究は派遣型と分担型とに大別されます。

区分	概略	民間機関などが負担する経費
派遣型	民間企業等から研究員を大島商船高等専門学校に派遣し、本校の施設・設備を使用して本校教員と共同で研究を行うもの	以下の①のみ又は①及び② ① 民間企業等からの研究員派遣に伴う費用 ② 研究に必要とする直接経費
分担型	民間企業等から研究員を派遣せず、大島商船高等専門学校及び民間企業のそれぞれにおいて共通の課題について協力して研究を行うもの	研究に必要とする直接経費

共同研究の受入状況

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
校長	0	0	0	1	0
一般科目	1	0	0	1	0
商船学科	2	1	3	2	1
電子機械工学科	8	7	7	5	2
情報工学科	1	1	1	1	0
大島丸	0	0	0	0	4
技術支援センター	0	0	0	0	0
計	12	9	11	10	7

令和5年度の民間企業等との共同研究の受入状況は、14件（継続含む）です。

区分	研究内容	企業名・団体名	研究担当者	期間
分担型	船底防汚塗料の研究開発	日本ペイントマリン株式会社	中村 泰裕	令和5年度～ 令和9年度
分担型	練習船大島丸等を用いた VDES(VHF Data Exchange System)の実験	古野電気株式会社	中村 泰裕	令和5年度
分担型	特殊舵（ゲートラダー）の特性把握調査研究	かめもプロペラ株式会社	中村 泰裕	令和5年度～ 令和7年度
分担型	特殊舵（ゲートラダー）の特性把握調査研究及び操舵技術の研究	東京計器株式会社	中村 泰裕	令和5年度～ 令和7年度
分担型	非公開	株式会社東芝	増山 新二	令和5年度
分担型	イットリウム鉄ガーネット酸化物薄膜を用いた磁化ダイナミクス励起制御方法の検討	長岡技術科学大学	神田 哲典	令和5年度
分担型	船用内燃機関における代替燃料の有効利用に関する研究	大阪産業大学	寺田 将也	令和5年度～ 令和7年度
分担型	AIによる猪検出を用いた安価捕獲装置の開発と実証（継続）	KYCソリューションズ有限公司 白木産業株式会社 株式会社ネイチャーピット	北風 裕教 松村 遼 (周南公立大学)	令和2年度～ 令和8年度
分担型	ツインカソード溶射機の高性能化と高絶縁膜の開発2（継続）	日本発条株式会社	笹岡 秀紀 古瀬 宗雄	令和4年度～ 令和5年度
分担型	PCによる汎用的な船体運動シミュレーション手法開発に関する研究（継続）	中電技術コンサルタント株式会社	千葉 元 岩崎 寛希	令和4年度～ 令和5年度
分担型	非公開	アルファ・エレクトロニクス株式会社 秋田工場	神田 哲典	令和4年度～ 令和5年度
分担型	瀬戸内海における海洋プラスチックごみの動態把握および回収に関する基礎検討（継続）	国立研究開発法人海洋研究開発機構 国立大学法人 鹿児島大学	幸田 三広	令和4年度～ 令和6年度
分担型	大島丸を活用した海上デジタルトランスフォーメーションに関する研究	フューチャークエスト株式会社	校長	令和4年度～ 令和5年度
分担型	フレキシブル基板上に成長させた強磁性薄膜の逆磁歪効果と異常ネルンスト効果を利用した歪センサの検討	物質・材料研究機構	神田 哲典	令和4年度～ 令和5年度

共同研究報告

研究題目	船底防汚塗料の研究開発	
研究体制	高専代表者	大島丸 船長 中村 泰裕
	企業・団体名	日本ペイントマリン株式会社
研究の概要	市販中の船舶船底用塗料に改良を重ねた数種類の試験塗料を船側両舷水面下に帯状に塗布し、防汚性能を継続確認中である。	

研究題目	練習船大島丸等を用いた VDES(VHF Data Exchange System)の実験	
研究体制	高専代表者	大島丸 船長 中村 泰裕
	企業・団体名	古野電気株式会社
研究の概要	<p>現行の AIS(船舶自動識別装置)の 34 倍となる情報量を相互通信することのできる VDES の実証実験を行った。</p> <p>電波伝搬実験及び本船から提案した情報共有プランについては、概ね良好な計測結果を得ることができた。</p>	

研究題目	特殊舵（ゲートラダー）の特性把握調査研究	
研究体制	高専代表者	大島丸 船長 中村 泰裕
	企業・団体名	かもめプロペラ株式会社
研究の概要	<p>大島丸は、本邦で 5 隻目となる特殊舵であるゲートラダー搭載船である。</p> <p>ゲートラダーの開発・販売メーカーである同社と、実機で解明されていない船体挙動について研究を継続している。</p>	

研究題目	特殊舵（ゲートラダー）の特性把握調査研究及び操舵技術の研究	
研究体制	高専代表者	大島丸 船長 中村 泰裕
	企業・団体名	東京計器株式会社
研究の概要	<p>特殊舵ゲートラダーを操舵するための装置を同社が製作している。</p> <p>効率運航に寄与すべく装置のアルゴリズムを変更して、燃料消費量の削減を目指した研究を継続している。</p>	

研究題目	非公開	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 増山 新二
	企業・団体名	株式会社東芝
研究の概要	非公開	

研究題目	イットリウム鉄ガーネット酸化物薄膜を用いた磁化ダイナミクス励起制御方法の検討	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 神田 哲典
	企業・団体名	長岡技術科学大学
研究の概要	YIG 磁性薄膜の局所領域高周波応答を実験・計算両面から検討した。数値計算から局所領域の周波数応答に特異な挙動が発生する条件が存在することを見出した。実験においてその傾向を検出する検討を行っている。	

研究題目	船用内燃機関における代替燃料の有効利用に関する研究	
研究体制	高専代表者	商船学科 寺田 将也
	企業・団体名	大阪産業大学
研究の概要	合成燃料や e-fuel、人口石油と呼ばれ、石油由来の燃料に代わるカーボンニュートラルを実現する燃料を内燃機関へ適応する研究を行っている。この燃料は、着火性が良く煤の排出は低減できるが、NO _x の排出量が増加する特性がある。そこで我々は吸排気バルブの開閉弁タイミングを変更し、圧縮比よりも膨張比が大きくなる、ミラーサイクルを適応することで、煤と NO _x を同時低減可能な PCCI 燃焼と呼ばれる燃焼を適応する研究を行っている。	

研究題目	AI による猪検出を用いた安価捕獲装置の開発と実証	
研究体制	高専代表者	情報工学科 北風 裕教 周南公立大学 松村 遼
	企業・団体名	K Y C ソリューションズ有限公司 白木産業株式会社 株式会社ネイチャーピット
	研究の概要	本共同研究は、深層学習による猪検出を用いた捕獲装置の開発・実証を行うものである。捕獲装置は、忌避効果を与えることを目的とした照明、音響機器と箱罾、囲い罾で構成され、照明、音響機器によって罾へと追い込みをかけるものとなる。猪検出や各種機器の制御に安価なエッジデバイスを用いることにより、装置の低コスト化を目指していく。

研究題目	ツインカソード溶射機の高性能化と高絶縁膜の開発 2	
研究体制	高専担当者	電子機械工学科 笹岡 秀紀 客員教授 古瀬 宗雄
	企業・団体名	日本発条株式会社
研究の概要	メディアン径 12 μ m 粉末を用いた Al 基材にたいするアルミナ溶射被膜形成について、膜構造、絶縁耐力が溶射時基材温度と材質変化に対する応答の調査を行った。A6061 基材での基材温度依存性は温度が高くなる程、絶縁耐力が向上し空孔率の減少する傾向が見られた。また、熱伝導率と硬さの異なる A1050、A6061、A7075 基材に対して被膜の特性を比較したところ、硬さが中間で熱伝導率が最も低い A6061 についての被膜の絶縁耐力が最も高かった。微粉末での溶射時には基材（既存膜）とスプラットの界面瞬間温度がより高い方が有利であることが示唆された。	

研究題目	P Cによる汎用的な船体運動シミュレーション手法開発に関する研究	
研究体制	高専担当者	商船学科 千葉 元 客員研究員 岩崎 寛希
	企業・団体名	中電技術コンサルタント株式会社
研究の概要	両頭型フェリーが入出港する港を整備時において、両頭型フェリーの出入港操船方法の検討または検討資料を策定した。 運動モデルやシミュレーションを実施し、両頭型フェリーの出入港の際に、操船への影響を検討した。	

研究題目	非公開	
研究体制	高専担当者	電子機械工学科 神田 哲典
	企業・団体名	アルファ・エレクトロニクス株式会社 秋田工場
研究の概要	非公開	

研究題目	瀬戸内海における海洋プラスチックごみの動態把握および回収に関する基礎検討	
研究体制	高専代表者	一般科目 幸田 三広
	企業・団体名	国立研究開発法人海洋研究開発機構 国立大学法人 鹿児島大学
研究の概要	「瀬戸内海における海洋プラスチックごみの動態把握および回収に関する基礎検討」実施計画に基づき、海岸・沿岸域の Web カメラによる常時モニタリングを行うため、4月に周防大島町へ設置の使用許可申請を行った。 町より許可が下りたため、5/23・24 で町内4か所の海岸に Web カメラを設置し、モニタリング調査をスタートした。 その後は順調に1時間に1枚のペースで写真が送付され画像データを収集している。	

研究題目	大島丸を活用した海上デジタルトランスフォーメーションに関する研究	
研究体制	高専担当者	校長
	企業・団体名	フューチャークエスト株式会社
研究の概要	VHF Data Exchange System (VDES) をはじめとする海上デジタル通信技術を活用するにあたり、どのようなコンテンツ供給とその開発が求められるかを、新造の大島丸を活用し、新しいVDES機能の実践的かつ探索的な機器開発、システム開発等を検討する。	

研究題目	フレキシブル基板上に成長させた強磁性薄膜の逆磁歪効果と異常ネルンスト効果を利用した歪センサの検討	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 神田 哲典
	企業・団体名	国立研究開発法人物質・材料研究機構
研究の概要	フレキシブル基板での異常ネルンスト効果の評価に向けて、MgO 基板を用いた単結晶 FeGa および Si 基板を用いた多結晶 FeGa 合金薄膜をそれぞれ形成し、その電気伝導特性に対する温度依存性評価を実施した。その結果、強い歪が単結晶膜の場合には加わることと結晶粒界の有無によって、両者の特性が大きく異なることを明らかにした。	

受託研究

民間企業等から特定の研究の委託を受けて、本校の教員が公務として行う研究です。経費は、研究を委託した方に負担していただきます。

過去の受託研究受入状況（継続含む）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
校長	0	0	0	0	0
一般科目	0	0	0	0	0
商船学科	0	0	0	0	0
電子機械工学科	2	1	2	1	1
情報工学科	0	0	0	0	0
技術支援センター	0	0	1	1	1
計	2	1	3	2	2

令和5年度の受託研究の受入状況は、2件（継続含む）です。

相手方	担当教職員	研究課題
科学技術振興機構	増山 新二	未来社会に必要な革新的水素液化技術
有限会社長州電気	砂田 智裕	ワンタッチロック機構架台の製品化に向けた開発

研究題目	未来社会に必要な革新的水素液化技術	
研究体制	高専代表者	増山新二
	企業・団体名	科学技術振興機構
研究の概要	<p>2017年策定の「水素基本戦略」には、水素コストをガソリンやLNG等と同等程度にする目標が掲げられ、2030年までの行動計画が示されている。この戦略を達成するための技術課題に「水素液化技術」が挙げられる。そこで本プロジェクトが、磁気冷凍技術を進展させた革新的水素液化技術の開発を目指し2018年度からスタートした。その内容は、①液化効率50%以上、液化量100kg/day以上の能力を有する水素液化機、②液化水素ゼロボイルオフを目指した小型・省電力冷凍機の開発である。研究体制は物質・材料研究機構（NIMS）が主体となり、国内諸機関が参画するオールジャパンの布陣となっている。詳細は「NIMS 液体水素」で検索していただきたい。</p>	

研究題目	ワンタッチロック機構架台の製品化に向けた開発	
研究体制	高専代表者	砂田 智裕
	企業・団体名	有限会社長州電気
研究の概要	<p>可搬型のアンテナ架台等で採用可能な伸縮性脚部のワンタッチロック機構の製品化に向け、重量の軽減及び製作コストの削減を目指す。また、傾斜地に合わせ脚部を伸縮させ、水平となる位置で架台の各脚を同時にワンタッチ固定できる機構の検討を行う。本機構は脚の内部に設置したスプリングを利用し機械的に固定する仕組みであるため、固定強度が高く、様々な用途での活用が期待できる。</p>	

寄附金

民間企業等や個人投資家からの寄附を受け入れて、本校の研究や教育の充実発展に活用させていただく制度です。「〇〇に対する研究」等研究目的を指定したものも可能です。なお、税制上の優遇措置として国に対する寄附金となり、法人の場合は全額を損金に算入、個人の場合は所得の25%を限度として所得控除ができます。

過去の寄附金受入状況 (※) 公募助成金を除く

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
学校に対して	7	5	13	8	15
校長	-	-	-	-	2
一般科目	0	0	0	0	1
商船学科	0	0	1	9	0
電子機械工学科	4	3	0	4	4
情報工学科	0	0	0	0	1
技術支援センター	0	0	0	0	0
計	11	8	14	22	23

教員に対する令和5年度の寄附金の受入状況は、8件（新規）です。

相手方	担当教職員	研究課題
株式会社日立ハイテク	古瀬宗雄	研究助成のため
(一社) 情報通信ネットワーク産業協会	浅川貴史	WiCON2023のため
ECL エージェンシー株式会社	幸田三広	研究助成のため
日本発条株式会社	古瀬宗雄	研究助成のため
アイ・システム株式会社	校長	研究助成のため
アイ・システム株式会社	北風裕教	研究助成のため
古荘 雅生	校長	研究助成のため
株式会社日立ハイテク	古瀬宗雄	研究助成のため

地域生涯学習

公開講座

毎年7月～9月頃を中心に、様々な分野の公開講座を開催しています。受講者は、講座のテーマ、対象者の年齢、人数などにより制限することがありますが、原則として、どなたでも受講できます。受講料は、講座により異なります。なお、その年度に実施する公開講座のテーマについては、ポスター、パンフレット、自治体広報、本校ホームページ等でお知らせしています。

令和5年度は、6件の公開講座を実施しました。

令和5年度に開催した公開講座は以下の通りです。

日程	公開講座名	対象	遂行人数	講師
8月～3月 (全22.5時間)	ハングル語学堂	一般	10人	朴 鍾徳
8月17日(木)	マイクロビットでプログラミング入門! with コンピューター部	小学生 中学生	6人	北風 裕教 技術支援 センター
8月18日(金)	もの作り体験講座 -電池とモーターで動く-	小学生(高学年) 中学生	2人	岡野内 悟
8月22日(火)	夏休みの自由研究テーマにいかがですか? 電気とプラズマの関係	小学生 中学生	4人	中村 翼
8月24日(木)	夏休みの自由研究テーマにいかがですか? 日常生活で良く目にする、あれを拡大して 見てみよう!	小学生 中学生	3人	中村 翼
9月9日(土)	水上オートバイで人命救助!PWCレスキュー 体験講座	一般	3人	幸田 三広 前畑 航平 浦田 数馬 吉積 侑莉



電気とプラズマの関係



マイクロビットでプログラミング入門! with コンピューター部
公開講座の様子

出前授業

小学校や中学校、保育園などに講師を派遣して出前授業を行っています。

令和5年度は、25件の出前授業を開催しました。

令和5年度に開催した出前授業は以下の通りです。

日程	内容 (出前授業先)	対象	遂行人数	講師
6月16日(金)	防災出前授業 (防府市立新田小学校)	児童	82人	小林 孝一郎 吉積 侑莉
6月23日(金)	防災出前授業 (下松市立中村小学校)	児童	53人	小林 孝一郎 渡邊 武 吉積 侑莉
6月27日(火)	防災出前授業 (山口市立名田島小学校)	児童	12人	幸田 三広
6月30日(金)	防災出前授業 (岩国市立高森小学校)	児童	57人	小林 孝一郎 渡邊 武 吉積 侑莉
7月14日(金)	防災出前授業 (岩国市立通津中学校)	生徒	37人	小林 孝一郎
7月22日(土) (1.5時間×2回)	ポンポン船をつくろう (防府市青少年科学館「サイエンスアカデ ミー2023」講座)	児童	40人	山口 伸弥
7月26日(水)	みずではしるふね(ストロー船)をつくろう (柳美幼稚園)	園児	12人	山口 伸弥
8月1日(火)	みずではしるふね(ストロー船)をつくろう (羽仁保育園)	園児 職員	26人 5人	前畑 航平 山口 伸弥
8月2日(水)	ポンポン船をつくろう (岩国市由宇文化会館)	児童	20人	山口 伸弥 寺田 将也
8月28日(月)	ふねのおしごとって? (公開授業) 練習船大島丸見学 (中保育園)	園児 職員	9人 3人	前畑 航平 浦田 数馬 山口 伸弥
8月30日(水)	みずではしるふね(ストロー船)をつくろう (柳井市立大島保育所)	園児 職員	14人 5人	前畑 航平 山口 伸弥

9月5日(火)	みずではしるふね(ストロー船)をつくろう (放光保育園)	園児 職員	23人 3人	前畑 航平 山口 伸弥
9月6日(水)	みずではしるふね(ストロー船)をつくろう (ひらい保育園)	園児 職員	8人 2人	前畑 航平 山口 伸弥
9月20日(水)	防災出前授業 (柳井市立柳井西中学校)	生徒 教職員	151人 15人	幸田 三広 吉積 侑莉
9月21日(木)	防災出前授業 (光市立大和中学校)	生徒 教職員	40人 3人	幸田 三広 吉積 侑莉
10月22日(日)	あなたはもってる? グラスハープで絶対音感 チェック 周南ゆめ物語~かがくスクエア~ (下松タウンセンター キラル)			笹岡 秀紀
11月2日(木)	防災出前授業 (田布施町立麻郷小学校)	児童 教職員	21人 2人	幸田 三広
11月16日(木)	ふねのおしごとって? (岩国市立装港小学校)	児童 教職員	22人 4人	前畑 航平 山口 伸弥
11月25日(土)	電気でポン 「青少年のための科学の祭典 2023 in 岩国」 (岩国市民文化会館)	岩国市在住 の理科や科 学に興味が ある方		笹岡 秀紀 小林 心
11月26日(日)	防災出前授業 (三ヶ浦自治会)	地区住民	50人	幸田 三広
12月15日(金)	海のゴミについて考えてみよう (周防大島町立東和小学校)	児童 教職員	17人 2人	山口 伸弥
12月17日(日) (20分×2回)	水陸両用ヨットカーを作ろう! (出張まるごと徳山高専 in 岩国)	幼児 小学生		
1月19日(金)	防災出前授業 (山口市立名田島小学校)	児童 保護者 教職員	24人 30人 10人	渡邊 武
2月7日(水)	プログラミングロボット(コーディーロッカー)体験講座 (周防大島町立島中小学校)	児童 教職員	10人 2人	北風 裕教 重本 昌也 松原 貴史
2月23日(金) (1.5時間×2回)	ふねをしろ! ふねをつくろう! ~みずのちからではしるふね~ (大分市体験型子ども科学館 O-Labo)	児童 職員	60人 2人	渡邊 武 松村 哲太 寺田 将也 山口 伸弥

出前授業「ふねのおしごと」の実施 山口 伸弥・前畑 航平

2023年11月16日（木）に岩国市立装港（しょうこう）小学校（岩国市）において、出前授業「ふねのおしごと」を、商船学科前畑講師と練習船大島丸山口一等機関士が実施しました。

岩国港の間近に位置する同小学校は、校舎の窓から国道2号線越しに停泊中の大型船や港湾荷役の設備等が眼下に広がる環境にあり、小学校近隣で見かける船の種類や大きさ、船がどのようなものを、どこから運んできているのかについての説明し、その後、船の折紙作りを行いました。

小学校から、「船を見たことがある児童はたくさんいるが、どんなお仕事をされているか、自分たちにどのような関りがあるか初めて知り、身近なものになった、地域のことを知る機会になった。」と感想がありました。



出前授業「ふねのおしごと」の授業風景

出前授業「プログラミングロボット体験講座」の開催

北風裕教、松原貴史、重本昌也、胡拓弥

令和6年2月7日（水）、周防大島町立島中小学校において、出前授業「プログラミングロボット体験講座」を開催しました。この出前授業は、小学5・6年生を対象に、本校の北風裕教教授（情報工学科）、松原貴史准教授（電子機械工学科）、重本昌也助教（情報工学科）、胡拓弥技術職員（技術支援センター）が講師になって実施し、ロボットに内蔵された色識別センサーや距離センサーを使ってロボットを制御するプログラミングを体験してもらいました。島中小学校の児童は、とても熱心にプログラムについて学んでいました。



プログラミング体験講座の様子（島中小学校）

大島商船高等専門学校地域連携交流会事業



事業の概要

趣旨・事業内容

大島商船高等専門学校地域連携交流会は、大島商船高専と海事産業界及び地域産業界（地元企業・地場産業）との各種交流を通じて、海事産業・地域産業等の発展に寄与するとともに、大島商船高専の教育研究の振興を図ることを目的として、平成21年10月に設立されました。

令和5年度末の会員数は、法人会員53団体、特別会員12団体、個人会員25名です。法人会員の年会費は一口10,000円（一口以上）で、個人会員の年会費は一口2,000円（一口以上）、特別会員は無料となっています。

会員企業（法人会員53団体）

	企業名・団体名	所在地
1	株式会社アイ・キャン	〒740-0022 岩国市山手町1丁目17番3号
2	アイ・システム株式会社（★）	〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-13 自動車会館ビル3階
3	あさひ製菓株式会社	〒742-0021 柳井市柳井 5275
4	株式会社アデリー	〒742-0021 柳井市柳井 11171-1
5	井本商運株式会社	〒650-0035 兵庫県神戸市中央区浪花町 59 神戸朝日ビル
6	有限会社岩本商事	〒745-0044 周南市千代田町 11-36
7	株式会社インフォコム西日本	〒740-0012 岩国市元町 4-12-5
8	牛島電設工業株式会社（★）	〒742-1502 熊毛郡田布施町波野 164 番地の 10
9	株式会社エス・イー・サポート	〒731-3164

		広島県広島市安佐南区沼田町伴 6000-7
10	株式会社NTTデータフロンティア	〒108-0075 東京都港区港南 1-9-36 アレア品川ビル 25 階
11	大島郡水産共励会	〒742-2801 大島郡周防大島町大字浮島 464 番地 11
12	大島商船高専同窓会	〒742-2193 大島郡周防大島町小松 1091-1
13	有限会社大野屋商店	〒742-0021 柳井市柳井 1574-26
14	小田水産	〒742-1111 熊毛郡平生町佐賀 1607-1
15	有限会社カツラスポーツ (★)	〒742-0031 柳井市南町 1 丁目 3 番 13 号
16	加藤汽船株式会社	〒650-0041 兵庫県神戸市中央区新港町 3 番 7 号
17	株式会社カワト T.P.C. (★)	〒742-0315 岩国市玖珂町 11600-51
18	カワノ工業株式会社	〒742-0021 柳井市柳井 1740-1
19	吉祥海運株式会社	〒747-0814 防府市三田尻 2-11-17
20	株式会社 GoQSystem (★)	〒740-0017 岩国市今津町 3 丁目 1 番 35 号 (山口支店)
21	サマユール株式会社 (★)	〒752-0927 下関市長府扇町 4 番 31 号
22	株式会社サンテック	〒745-0862 周南市江口 2 丁目 1 番 17 号
23	株式会社 SEA WAY	〒730-0016 広島県広島市中区職町 3-1
24	Cherie 合同会社	〒744-0018 下松市西郷 2-3-30-313
25	株式会社シーゲートコーポレーション	〒734-0013 広島県広島市南区出島 2 丁目 22 番 37 号
26	ジャンボフェリー株式会社	〒650-0041 兵庫県神戸市中央区新港町 3 番 7 号
27	新川電機株式会社 西中国支社	〒745-0811 周南市五月町 10-45
28	一般財団法人新日本検定協会	〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-23 京急第 2 ビル
29	新立電機株式会社	〒744-0002

		下松市東海岸通り 1 番地 10
30	周防大島町商工会	〒742-2301 大島郡周防大島町久賀 4485
31	船舶安全研究会 (★)	〒658-0021 兵庫県神戸市東灘区深江本町 4 丁目 1-16-301
32	大晃ホールディングス株式会社	〒742-1598 熊毛郡田布施町大字下田布施 209-1
33	太陽通信株式会社	〒742-0032 柳井市古開作 563-6
34	有限会社千鳥	〒742-2805 大島郡周防大島町大字土居 1094-1
35	有限会社長州電気	〒742-1101 熊毛郡平生町大字平生町 568-5
36	帝人株式会社 岩国事業所	〒740-8511 岩国市日の出町 2-1
37	東亜電子機材株式会社 (★)	〒744-0022 光市虹ヶ浜 1 丁目 2-14
38	トクヤマ海陸運送株式会社	〒745-0025 周南市築港町 2 番 18 号
39	有限会社中谷事務機	〒742-2301 大島郡周防大島町久賀 4782-1
40	株式会社中村造船鉄工所	〒742-1353 柳井市阿月 1021-1
41	株式会社仲合 (★)	〒742-0031 柳井市南町 6 丁目 14 番 3 号
42	株式会社日本海洋科学 (★)	〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地
43	株式会社沼田ヤンマー商会	〒742-0021 柳井市柳井 150-60
44	阪九フェリー株式会社	〒800-0113 北九州市門司区新門司北 1-1
45	株式会社フジマ	〒742-8555 柳井市柳井 987
46	株式会社藤本コーポレーション	〒742-0023 柳井市南浜 3 丁目 1-1
47	防予フェリー株式会社	〒742-0021 柳井市柳井 134 番地
48	株式会社ボルテック	〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野 2 丁目 8 番 13 号
49	株式会社松下美紀照明設計事務所	〒814-0001

		福岡県福岡市早良区百道浜 3-4-7-101
50	株式会社丸久	〒747-8509 防府市大字江泊 1936 番地
51	株式会社メタ・インフォ (★)	〒742-0324 岩国市玖珂町駅通り 797-28
52	山口県農業協同組合 周防大島統括本部	〒742-2301 大島郡周防大島町久賀 4723
53	ヤンマーパワーテクノロジー株式会社	〒731-5145 広島県広島市佐伯区隅の浜 3-1-31

★は令和5年度に新しく会員になった企業・団体です。(★)

特別会員（12 団体）

	企業名・団体名	所在地
1	岩国市	〒740-8585 岩国市今津町1丁目14-51
2	上関町	〒742-1402 熊毛郡上関町大字長島503
3	公益財団法人 やまぐち産業振興財団	〒753-0077 山口市熊野町1-10 NPY ビル 10 階
4	西京銀行 大島支店	〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀4341-1
5	周防大島町	〒742-2192 大島郡周防大島町大字小松126-2
6	田布施町	〒742-1592 熊毛郡田布施町大字下田布施3440番地1
7	地方独立行政法人 山口県産業技術センター	〒755-0195 山口県宇部市あすとぴあ4丁目1番1号
8	日本政策金融公庫 岩国支店	〒740-0018 岩国市麻里布四丁目1番3号 ARK ビルⅡ2階
9	平生町	〒742-1195 熊毛郡平生町大字平生町210-1
10	柳井市	〒742-8714 柳井市南町一丁目10番2号
11	山口銀行 大島支店	〒742-2106 大島郡周防大島町大字小松278-4
12	山口県水産研究センター	〒753-8501 山口市滝町1番1号

個人会員（25 名）

地域連携交流会役員会

地域連携交流会役員会では、前年度の事業報告、決算報告、監査報告が行われ、当年度の事業計画（案）、予算（案）、総会日程（案）等について検討されます。会員（企業、個人）と大島商船高等専門学校との密接な交流による教育研究の活動を支援するとともに、地域連携事業の円滑な推進を図り、地域社会が発展することを目的に議論が行われます。



地域連携交流会役員会（令和5年度の様子）

地域連携交流会総会

地域連携交流会総会では、前年度の事業報告、決算報告、監査報告が行われ、地域連携交流会役員会で議論された当年度の事業計画（案）、予算（案）についての承認が行われます。事業計画（案）では、大島商船高専と海事産業界及び地域産業界との交流に関する事業、2. 技術者のリフレッシュ教育など企業の育成支援事業、3. 大島商船高専への支援事業、4. その他、本会の目的を達成するため適当と認められる事業についての詳細な確認が行われます。また、予算（案）においては、目的が達成されるよう配分がされているかの確認が行われます。

なお、近年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議を行っておりましたが、令和4年度からは、対面で実施し、令和5年度は9月8日（金）大島商船高等専門学校練習船大島丸 学生ホールで開催しました。当日は、キャリア教育フォーラムのイベント参加に関する案内もあり、地域連携交流会の参加に対するメリットについて、大島商船高専地域協力センター長の中村翼先生より説明がありました。



川口会長の挨拶

地域連携交流会講演会（会員発表、特別講演）

地域連携交流会総会と同日に、会員発表および特別講演が催されます。会員発表では、会員企業間における連携を強める目的で、企業様の経営理念や企業テーマ、会社説明などが行われます。特別講演では、企業間の連携や企業と高専の連携をより具体化するために、大学やNPO法人から専門の方を招聘して、共同研究や受託研究などについてのメリットや事例紹介を行います。

令和5年度は、9月8日（金）14時00分（総会終了後）に同会場（大島商船高等専門学校練習船大島丸学生ホール）において実施されました。

**令和5年度
大島商船高等専門学校
地域連携交流会総会**

令和5年
9月8日 金
13:30~16:20
大島商船高等専門学校
大島丸（学生ホール）
（山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地）

Program

13:10~ 受付開始
13:30 総会

14:05 会員紹介 (1)

『トクヤマ海陸運送株式会社
会社・事業概要等説明』
はしもと かずまさ
橋本 和征 氏
トクヤマ海陸運送株式会社 海陸部

情報交換会

日時 令和5年9月8日 金
17:00~18:00

場所
大晃ホールディングス株式会社
国際研修センター

14:35 会員紹介 (2)

『株式会社 GoQSystem の
事業概要について』
もりやま たけし
森山 武蔵 氏
株式会社 GoQSystem ソリューション事業部
セールスマネージャー

15:15 大島丸見学
16:20 閉会

結成/企画/発表 〒742-2193 山口県大島郡周防大島町大字小松 1091 番地 1
大島商船高等専門学校 総務課 企画係 TEL: 0820-74-5457 MAIL: kikaku@oshima-k.ac.jp



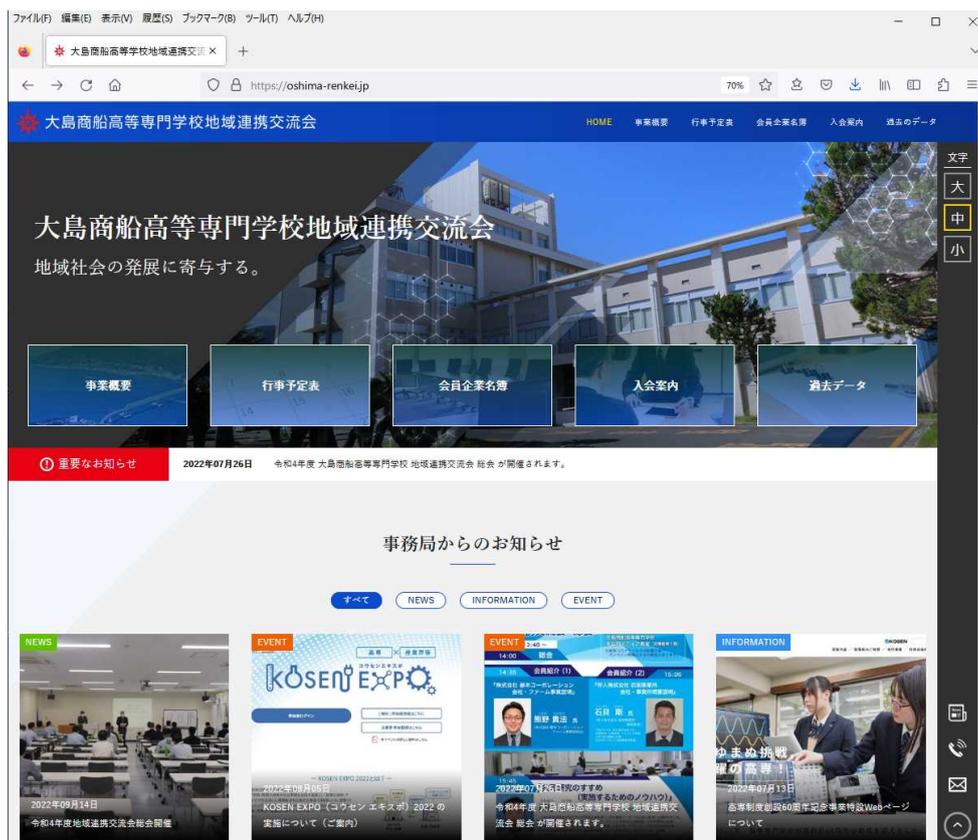
会員発表の様子（左：橋本 和征様、右：森山 武蔵様）

地域連携交流会ホームページ

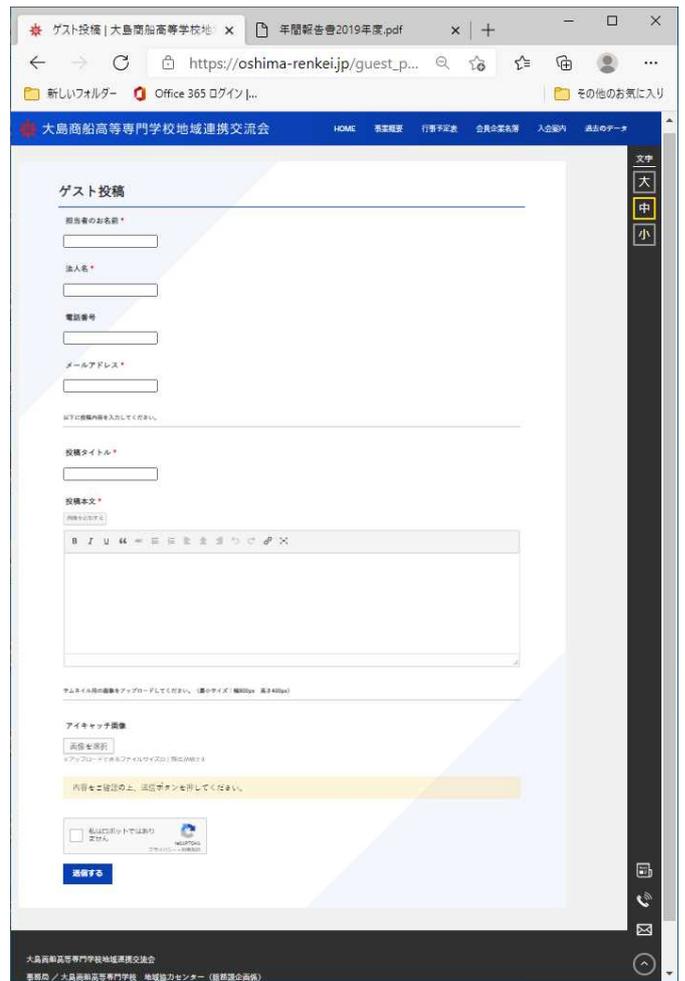
大島商船高等専門学校地域連携交流会では令和2年度からWebサイトを開設しております。事務局からのお知らせをはじめ、事業概要、行事予定表、会員企業名簿、入会案内、過去のデータを掲載しております。

また、各会員様からのニュースやイベントについてもWebサイトのトップページに掲載することで、地域協力が円滑に行えるようになっていきます。

なお、個人会員、一般会員、特別会員の皆様からの記事を容易にアップデートできる仕組みを構築しており、記事はブログ形式で記述することができ、図や写真なども記載することができます。



Web サイトトップページ



各記事のページ

付録

科学研究費助成事業

概要

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピアレビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

過去の受入状況（継続を含む件数、分担は含まない）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
基盤研究（A）	0	0	0	0	0
基盤研究（B）	0	0	0	0	0
基盤研究（C）	3	4	7	2	1
挑戦的研究（萌芽）	0	0	0	0	0
若手研究（A）	0	0	0	0	0
若手研究（B）	1	0	0	0	0
若手研究	3	4	1	0	0
研究活動スタート支援	0	0	0	0	0
奨励研究	1	0	1	0	0
計	8	8	9	2	1

令和5年度科学研究費助成事業 新規採択状況

研究種目	研究課題	研究代表者 (期間)
基盤研究(C)	近代日本における〈迷惑〉意識の形成過程の解明：ライフサイクルの諸段階に着目して	島田 雄一郎 (令和5年度～令和7年度)

令和5年度教育改善充実費（校長裁量経費）

概要

機構本部から配分される運営費交付金等は前年度の実績額・配分額、また各部署から提出された「所要額積算調書【一般経費・特別経費】」の内容を検討し、年度の必要性を踏まえた上で予算配分額を決定しています。また、一定額を「校長裁量経費」として確保し、教職員から研究及び教育改善に必要な資金として公募を行い、ヒアリングを実施し決定のうえ所要額を配分しています。施設整備についても、一定額を校長裁量経費として教育設備整備費経費を確保し、学科単位で申請書の提出を求めて、ヒアリングを実施して決定のうえ、所要額を学科に配分されています。

以下が、令和5年度の校長裁量経費の採択状況です。

令和5年度校長裁量経費採択状況

学科等	代表担当者	プロジェクトの名称
商船学科	森脇千春	小松港付近の風況調査に向けた船上風利用のための補正式構築とその有効性の検証
商船学科	寺田将也	合成燃料重質油成分を用いた船用機関の研究開発
電子機械工学科	藤井雅之	第二種電気工事士の資格取得による教育の質的保証の取り組み
電子機械工学科	中村 翼	電子サイクロトロン共鳴イオン源を用いた金属多価イオンの生成
情報工学科	北風裕教	日本の伝統文化のDX化による継承と基盤モデルの構築
一般科目	幸田三広	心肺蘇生法教育人体モデルの更新
一般科目	牛見真博	近代気象学の先駆者・中村精男一吉田松陰と松下村塾の影響一
一般科目	四丸直人	連分数の無理数回転へ与える影響についての研究
総務課	企画係	資料館の広報・資料館資料のデジタルアーカイブ化

公募助成金（助成金）

概要

民間企業等の団体による助成事業に応募して採択された事業です。

過去の採択状況（入金年度を記入しています。）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
一般科目	0	0	0	1	0
商船学科	2	1	4	1	0
電子機械工学科	3	2	1	1	0
情報工学科	0	1	1	0	0
技術支援センター	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	5	4	6	3	0

技術相談申込要領

相談内容は次のようなものがあげられます。技術相談とは、企業等における技術的な問題解決を中心とした一時的な相談をいいます。技術相談の申請は、原則として地域協力センターで受付いたします。

(1) 科学技術相談 (2) 地域交流相談 (3) 教育相談 (4) 共同研究相談 (5) 調査研究相談

相談の申込みは、地域協力センター技術相談申込書(様式1)に、相談内容をできるだけ具体的にご記入の上、後記の問い合わせ先にお送りください。ご記入いただきました情報は、技術相談に対する回答などのために入手するもので、あらかじめ同意を得ることなく、この目的以外の利用はいたしません。相談申込所受理後、相談内容に最も適切と思われる教員を選定した上で、相談日時などを連絡させていただきます。しかしながら、申し込まれた相談内容に対して、お答えできる教員が本校に在籍しない場合は、相談に応じられない場合がありますのでご了承ください。

また、大島商船高等専門学校の名称を利用することのみを目的とする相談には応じられません。

技術相談は、初回は原則無料です。2回目以降の相談については、問題解決のために時間や経費を必要とする場合には、技術相談料の徴収や共同研究等として取り扱うことになります。ただし、地元企業との連携状況や地域性を勘案し、必要に応じては2回目以降も無料として取り扱われることもあります。

技術相談料金表

相談回数	金額	備考
1回目	無料	
2回目以降	30,000円/1回 (消費税別) 1回の相談は、2時間で3日分を想定	地元企業との連携状況や地域性を勘案し、2回目以降も無料となることがあります。

技術相談申込書(様式1)

<https://www.oshima-k.ac.jp/school/gijutusoudannmousikomisho.doc>



〒742-2193

山口県大島郡周防大島町大字小松1091-1

大島商船高等専門学校総務課企画係 TEL 0820-74-5457 FAX 0820-74-5552

E-mail kikaku@oshima-k.ac.jp URL <https://www.oshima-k.ac.jp>

技術相談申込書 (様式1)

技術相談報告書 (様式2)

別紙 1
令和〇〇年〇〇月〇〇日

技術相談申込書

地域協力センター長 殿

下記のとおり技術相談を申込みます。

記

申 込 者	企業名等	
	役 職	
	氏 名	印
	住 所	
	電 話	
	E-mail	
担当教職員の名	<input type="checkbox"/> 有 (担当教職員名: 〇〇 〇〇) <input type="checkbox"/> 無	
相談内容	具体的に記入ください。	

次の事項について、ご確認の上、同意いただける場合は、しをご記入願います。

秘 密 保 持	<input type="checkbox"/> 技術相談の経過において、担当教職員よりノウハウ等の提供を受けた場合、秘密保持契約を締結することに同意する。 <small>※同意いただけない場合、技術相談を実施することができないことがあります。</small>
知的財産の取扱い	<input type="checkbox"/> 技術相談の経過又は結果、担当教職員の寄与により知的財産が生じた場合、当校へ書面にて通知することに同意する。 <small>※同意いただけない場合、技術相談を実施することができないことがあります。</small>

別紙 2
令和〇〇年〇〇月〇〇日

技術相談報告書

地域協力センター長 殿

(報告者) 所属: 〇〇学科・技術室
役職: _____
氏名: _____ 印

下記のとおり技術相談を行いましたので報告します。

記

技術相談実施日時	令和〇〇年〇〇日 (〇) 〇〇: 〇〇 ~ 〇〇: 〇〇 (〇〇時間)
相 談 者 ※名刺の写し添付可	企業名等:
	役 職:
	氏 名:
	連絡先:
相談内容	
対 応	ノウハウ等の提供 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	秘密情報の受領 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	今後の対応 <input type="checkbox"/> 共同・受託研究 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 無
	知的財産の創出 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <small>※詳細は別途説明等欄のとおり (口発明・口考案・口意匠・口ノウハウ・口その他)</small>
	<input type="checkbox"/> 今後創出する可能性が有 <input type="checkbox"/> 無

.....以下 記入不要.....

確認欄	相談料	: <input type="checkbox"/> 有料 (〇〇〇〇 円) <input type="checkbox"/> 無料
	秘密保持契約	: <input type="checkbox"/> 締結済み <input type="checkbox"/> 後日締結が必要 <input type="checkbox"/> 締結は不要
	発明等の取扱い	: <input type="checkbox"/> 知的財産委員会へ相談 <input type="checkbox"/> 無
	今後の対応	: <input type="checkbox"/> 共同・受託研究 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 相談継続 <input type="checkbox"/> 無 (完了)

地域協力センター長	総務課長	課長補佐	企画係長	担当者

センター主要日誌

月日	事項	場所等
4/4 (火)	屋代島さとうみネットワークとの打ち合わせ	大島商船高等専門学校 プラズマ・バリューチェーン・ラボ
4/17 (月)	第1回地域協力センター運営委員会	大島商船高等専門学校 大会議室
4/28、 29 (金) (土)	第4回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト 2023	最優秀賞、ウエスタンデジタル賞、NEC ソリューションイ ノベータ賞を受賞 おめでとうございます。
5/2 (火)	株式会社藤本コーポレーション、株式会社アデリーと打合せ（地域連携交 流会連携関連）	山口県柳井市 株式会社藤本コーポレーション、株式会社アデリー
5/8 (月)	屋代島さとうみネットワークとの打ち合わせ	大島商船高等専門学校 地域協力センター
5/10 (水)	トクヤマ海陸運送株式会社との打合せ	山口県周南市 トクヤマ海陸運送株式会社
5/12 (金)	第1回研究推進・地域協力・知的財産委員会（メール審議）	大島商船高等専門学校 企画係
5/16 (火)	第2回地域協力センター運営委員会	大島商船高等専門学校 小会議室
5/19 (金)	大晃 HD 研修航海	大島商船高等専門学校 大島丸
5/30 (火)	全国高専ディープラーニングコンテスト受賞について テレビ番組（大 島商船高専が快挙！全国最優秀の AI 活用アイデアとは）の放送	KRY 山口放送（熱血テレビ） 16:50 - 17:53
5/31 (水)	大島商船高専サイバー犯罪抑止隊（山口県警サイバー防犯ボランティア） の募集を開始	大島商船高等専門学校 本科3年生以上が対象
5/31 (水)	屋代島さとうみネットワークとの打ち合わせ 海洋バイオニクススクール、課題解決支援プログラム関係	大島商船高等専門学校 地域協力センター
6/1 (木)	第2回研究推進・地域協力・知的財産委員会（メール審議）	大島商船高等専門学校 企画係
6/2 (金)	有限会社 長州電気との打合せ	山口県熊毛郡平生町 有限会社 長州電気
6/7 (水)	地域連携交流会 役員会	大島商船高等専門学校 大会議室
6/12 (月)	徳山高専テクノ・アカデミア総会に出席	山口県周南市 遠石会館
6/16 (金)	出前授業 防災出前授業	山口県防府市 防府市立新田小学校

6/20 (火)	柳井警察署 (サイバーボランティア委嘱状) 打合せ	大島商船高等専門学校 中村教員室 (電話)
6/21 (水)	柳井警察署 (サイバー犯罪抑止隊) 関連 学生面談	大島商船高等専門学校 地域協力センター
6/23 (金)	出前授業 防災出前授業	山口県下松市 下松市立中村小学校
6/27 (火)	出前授業 防災出前授業	山口県山口市 山口市立名田島小学校
6/28 (水)	柳井警察署 (サイバー犯罪抑止隊) 関連 学生面談・地域連携・柳井警察署 (サイバーボランティア) 委嘱状	大島商船高等専門学校 地域協力センター・校長室
6/30 (金)	出前授業 防災出前授業	山口県岩国市 岩国市立高森小学校
7/4 (火)	柳井警察署 (サイバー犯罪抑止隊) 関連 学生面談	大島商船高等専門学校 地域協力センター
7/6 (木)	第3回研究推進・地域協力・知的財産委員会 (メール審議)	大島商船高等専門学校 企画係
7/13 (木)	中国地域創造研究センター 打ち合わせ	大島商船高等専門学校 地域協力センター
7/14 (金)	柳井警察署 (テロ防止キャンペーン) 関連 問い合わせ	大島商船高等専門学校 総務課
	令和5年度 中国地域産学官連携コンソーシアム運営会議	島根大学 本部棟 5階・大会議室
	出前授業 防災出前授業	山口県岩国市 岩国市立通津中学校
7/21 (金)	キャリア支援室長と打合せ (地域連携交流会連携関連)	大島商船高等専門学校 前畑教員室
7/26 (水)	親子沿岸環境学習 (山口きらめき財団) の実施	大島商船高等専門学校 実習船 (すばる)
7/31 (月)	会報初稿	大島商船高等専門学校 中村教員室
8/5 (土)	公開講座 ハングル語学堂 (第1回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
8/9 (水)	柳井警察署 (サイバーボランティア) 関連 学生に連絡 (メール)	大島商船高等専門学校 中村教員室
	徳山高専とのWebミーティング (科学教室関連)	大島商船高等専門学校 中村教員室
8/17 (木)	公開講座 (micro:bit(マイクロビット)でプログラミング入門! with コンピュータ部)	大島商船高等専門学校 技術支援センター
8/18 (金)	公開講座 (もの作り体験講座 -電池とモーターで動く-)	大島商船高等専門学校 創造ロボット・ラボ

8/22 (火)	公開講座（夏休みの自由研究テーマにいかがですか？ 電気とプラズマの関係）	大島商船高等専門学校 プラズマ・バリュウチェーン・ラボ
8/24 (木)	大島丸 夏休み体験航海（～8/25（金）の1泊2日）	大島商船高等専門学校 大島丸
	公開講座（夏休みの自由研究テーマにいかがですか？ 日常生活で良く目にする、あれを拡大して見てみよう！）	大島商船高等専門学校 プラズマ・バリュウチェーン・ラボ
8/31 (木)	キャリア支援室長と打合せ（地域連携交流会連携関連）	大島商船高等専門学校 前畑教員室
	柳井警察署（サイバーボランティア）関連	大島商船高等専門学校 中村教員室
9/2 (土)	公開講座（水上オートバイで人命救助（PWCレスキュー）体験講座）	大島商船高等専門学校 すばる棧橋付近
9/4 (月)	海洋教育パイオニアスクール（大島小学校）	大島商船高等専門学校 実習船 すばる／練習船 大島丸
9/8 (金)	地域連携交流会 総会	大島商船高等専門学校 大島丸（学生ホール）
9/9 (土)	公開講座 水上オートバイで人命救助（PWCレスキュー）体験講座	大島商船高等専門学校 浅橋付近
	公開講座 ハングル語学堂（第2回目）	大島商船高等専門学校 小会議室
9/16 (土)	公開講座 ハングル語学堂（第3回目）	大島商船高等専門学校 小会議室
9/20 (水)	第3回地域協力センター運営委員会	大島商船高等専門学校 小会議室
	柳井警察署（サイバーボランティア）関連 アンケート調査 （～9/29(金) 17:00）	大島商船高等専門学校 中村教員室
9/22 (金)	サイバー防犯ボランティア意見交換会議（Webex 会議）	大島商船高等専門学校 多目的交流室
9/23 (土)	公開講座 ハングル語学堂（第4回目）	大島商船高等専門学校 小会議室
9/25 (月)	就職に向けた準備へのアドバイス キャリア支援室との共同企画（会員企業 2社に講演依頼）	大島商船高等専門学校 多目的メディア教室
9/29 (金)	キャリア支援室長との協議（今後の合同企画に関する内容など）	大島商船高等専門学校 中村教員室
10/2 (月)	海洋教育に関するメール問い合わせ（大島小学校） （屋代島さとうみネットワーク 田中 貞徳 様）	大島商船高等専門学校 地域協力センター
	第4回研究推進・地域協力・知的財産委員会（メール審議）	大島商船高等専門学校 企画係
10/5 (木)	やまぐち半導体・蓄電池産業ネットワーク協議会（説明会）	大島商船高等専門学校 小会議室

11/4 (土)	公開講座 ハングル語学堂 (第5回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
11/5 (日)	就職・進学に向けた業界研究セミナー (地域連携交流会 会員企業様:10社参加)	大島商船高等専門学校 第一体育館
11/15 (水)	「やまぐち半導体・蓄電池産業ネットワーク協議会」設立記念セミナー	山口グランドホテル (山口市小郡金町 1-1) 2階「鳳凰・鶴」
	第5回研究推進・地域協力・知的財産委員会 (メール審議)	大島商船高等専門学校 企画係
11/21 (火)	海洋教育パイオニアスクールの追加プログラム (大島小学校)	大島漁港およびその付近
11/24 (金)	第6回研究推進・地域協力・知的財産委員会 (メール審議)	大島商船高等専門学校 企画係
11/25 (土)	公開講座 ハングル語学堂 (第6回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
11/29 (水)	e-sport イベント	大島商船高等専門学校 多目的メディア教室
12/7 (木)	第7回研究推進・地域協力・知的財産委員会 (メール審議)	大島商船高等専門学校 企画係
12/9 (土)	公開講座 ハングル語学堂 (第7回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
12/17 (日)	出張 まるごと徳山高専 in 岩国 (合同企画)	岩国市民文化会館 展示室
12/23 (土)	公開講座 ハングル語学堂 (第8回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
12/27 (水)	山口県警とのサイバー犯罪関係の打ち合わせ (電話)	大島商船高等専門学校 中村教員室
1/6 (土)	公開講座 ハングル語学堂 (第9回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
1/10 (水)	山口県警とのサイバー犯罪関係の打ち合わせ (電話)	大島商船高等専門学校 中村教員室
1/15 (月)	山口県警とのサイバー犯罪関係の打ち合わせ (電話)	大島商船高等専門学校 中村教員室
	柳井警察とのサイバー犯罪関係の打ち合わせ (電話)	大島商船高等専門学校 中村教員室
1/17 (水)	中国地区テクノセンター長会議 (オンライン)	大島商船高等専門学校 小会議室
1/19 (金)	柳井警察とのサイバー犯罪関係の打ち合わせ	大島商船高等専門学校 中村教員室
1/20 (土)	公開講座 ハングル語学堂 (第10回目)	大島商船高等専門学校 小会議室

1/23 (火)	柳井警察署（テロ防止キャンペーン）関連 意見交換	大島商船高等専門学校 中村教員室
2/1 (木)	第 8 回研究推進・地域協力・知的財産委員会（メール審議）	大島商船高等専門学校 企画係
2/3 (土)	公開講座 ハングル語学堂（第 1 1 回目）	大島商船高等専門学校 小会議室
2/7 (水)	出前授業 プログラミングロボット体験講座	山口県大島郡周防大島町 島中小学校
2/17 (土)	公開講座 ハングル語学堂（第 1 2 回目）	大島商船高等専門学校 小会議室
2/21 (水)	フィッシングサイト撲滅チャレンジカップ（大島商船高専サイバー犯罪抑止隊）	団体部門 1 位、個人テイクダウン部門 1 位、個人総合 2 位を受賞 おめでとうございます。
2/22 (木)	山口県警察本部サイバー対策室との面談（電話）	大島商船高等専門学校 中村教員室
2/27 (火)	次年度 海洋教育バイオニアスクールに関する打ち合わせ（沖浦小学校 校長）	大島商船高等専門学校 校長室
3/4 (月)	第 4 回地域協力センター運営委員会	大島商船高等専門学校 地域協力センター
3/5 (火)	サイバーセキュリティ月間に合わせた啓発活動（大島商船高専サイバー犯罪抑止隊）	柳井ゆめタウン
3/9 (土)	公開講座 ハングル語学堂（第 1 3 回目）	大島商船高等専門学校 小会議室
3/11 (月)	第 9 回研究推進・地域協力・知的財産委員会（メール審議）	大島商船高等専門学校 企画係
3/28 (木)	やまぐち産業振興財団との打ち合わせ（メール）	大島商船高等専門学校 中村教員室

センター運営会議の開催状況

会議の開催回数及び議題

回	開催日	審議事項等
1	令和5年 4月17日(月)	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料の共有方法について 2 令和5年度地域協力センター運営体制について 3 公開講座・出前授業の募集時期について 4 地域連携交流会に関する内容 <ol style="list-style-type: none"> 4.1 地域連携交流会会員状況について 4.2 活動計画(案) 4.3 企業への挨拶回り 5 地域協力センター活動計画 6 その他 <ol style="list-style-type: none"> 6.1 予算について 6.2 アピールの方法について 6.3 地域連携交流会総会の会員獲得依頼について
2	令和5年 5月16日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1 公開講座・出前授業の一覧および予算配分の確認について 2 地域連携交流会に関する内容(会員企業様への挨拶まわり) 3 今後の予定の確認
3	令和5年 9月20日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度中国地区テクノセンター長会議(大島商船当番校)について 2 外部者による大島丸の貸与申請について
4	令和6年 3月4日(月)	<ol style="list-style-type: none"> 1 年報について 2 次年度の予定について 3 次年度の予算申請について

地域協力センター（令和5年度）

センター長	中村 翼（電子機械工学科）
副センター長	北風裕教（情報工学科）
センター委員	千葉 元（商船学科）
	朴 鍾徳（商船学科）
	岡野内悟（電子機械工学科）
	杉野直規（情報工学科）
	杉村佳昭（一般科目）
	末次 竜（一般科目）

総務課長	毛利好孝
総務課企画係	

表紙・裏表紙（絵） 初崎雛希（電子機械工学科5年）

地域協力センター年報

Collaborative Technical Center

No.5 2024.3



2023

独立行政法人 国立高等専門学校機構

大島商船高等専門学校

National Institute of Technology, Oshima College